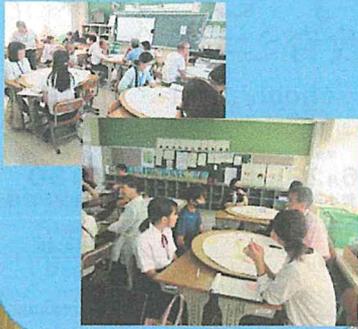


2024年8月21日

教育ミニ集会 Vol2
富勢中学校区で9年間で育む力を120名でワークショップをする。
富勢中学校区学校運営協議会



2024年7月

グランドデザイン作成
教職員のプロジェクトチームにより作成。



2024年6月29日

教育ミニ集会 Vol1
目指す子どもの姿を話し合うワーク



2024年4月
目指す姿を職員間で話し合う

現状の目指す姿の実現に向けて、どんな実践をしたか、今年は何をしようとしているか。



2024年2学期～

富勢地域を教材とした総合・生活科を展開し、地域と共に教育活動を展開する



2025年1月22日

次年度教育課程創造会議を行う。
富勢4校計画摺り合わせ



2025年2月19日

教育ミニ集会 Vol3
全学年の次年度計画を地域・保護者と協働で行う



2024年4月
目指す姿を職員間で話し合う

現状の目指す姿の実現に向けて、どんな実践をしたか、今年は何をしようとしているか。



2024年4月9日

- ①教務が前任校で梅津の学校経営を知っており、目指す子供の姿を決めて取り組む良さについて語る。
- ②昨年度の経営グランドデザインをもとに、自分は何に取り組んだのか、個人ワークする。
- ③取り組んだ内容をグループワークでシェアする。
- ④今年取り組みたい内容について 個人ワークでまとめ今年の挑戦シートに記入する。





新しい学びをつくるために
社会に開かれた教育課程の実現に向けて・・・

富勢小教育ミニ集会 Vol.1

ファシリテーター
 リンク&クリエイト
 代表 福島 毅 様

コメンテーター
 敬愛大学
 准教授 阿部 学 様



みんなで語ろう！

地域と 共に創る 学び

2024
 教育ミニ集会 Vol.1

SchoolとAreaのCollabo
 「学校」 「地域」 「協定」 「協定」
 21世紀に生きる「学び方」を考えてみましょう！！

場所：柏市立富勢小学校 体育館 柏市布告925-1

6月29日 13:30~15:30
 富勢小PTA・富勢地区各町会・富勢地区企業の皆様

13:30~14:45
 第1部 「富勢小でこんな子どもが育ってほしい？」
 ワークショップで意見集約

14:50~15:30
 第2部 「こんな学びが広がると・・・」

敬愛大学 准教授 阿部 学 氏
 お問い合わせ 柏市立富勢小ミニ集会事務局 教頭 石川 尚子 氏
 TEL 04-7133-2077
 URL https://kashiwa.ed.jp/tomise-e/

2024年6月29日

①自分語りから、小学校の時に身に覚えのよい学びを振り返る

②育てたい力を関連する教育活動はどんな活動か

③目指す子供の姿を作文してみよう



2024年度 富勢小 学校経営グランドデザイン

学校教育目標 自ら学び 心豊かに たくましく生きる富勢の子 の育成

中期目標 3年後に実現したい学校像

地域と共に教育課程(カリキュラム)を共有し、目指す子どもの姿の実現に向け、学校は地域を、地域は学校を考え教育活動を通じて発展しあう学校。

短期目標 24年度末に実現すること

富勢小の職員と保護者・地域が目指す児童の姿を共有し、学校行事、各教科の指導を捉えなおし、富勢3小学校が関わり合う視点を持って子供の学びに沿った教育課程を創る。

目指す子どもの姿
挑戦し やりぬこうとする子!

見通す力 計画を立てる力 柔軟性・創造性	挑戦する力 試行を繰り返す力・失敗を恐れない力 乗り越える力・困難を乗り越える力
関わり合う力 傾聴力・思いやる力 協調性・コミュニケーション力	自立する力 自己肯定感・主体性 基本的な生活習慣・自己管理能力
経験から好むを見つける力・興味をもつ力・自信をもつ力・楽しむ力 探求する力・読解力・思考力・自己管理能力・体力・あいさつ	

経営重点手段 3つの新

新しい発想で取り組む

- 子どもを主語にした、個別最適で協働的な学びの具体化を図る授業
- 富勢地域、外部との関わり、学習支援ボランティアを活かした地域一体型

新しい活用方法を工夫する

- 図書館、GIGA、少人数教室の一体的活用

新しい教育課程を創る

- 生活科、総合の学習を富勢3校で交流する
- 個別最適で協働的な算数授業からのカリマネ

目指す教師像

- 前例に採れない挑戦力
- 他学年や地域と協働する調整力

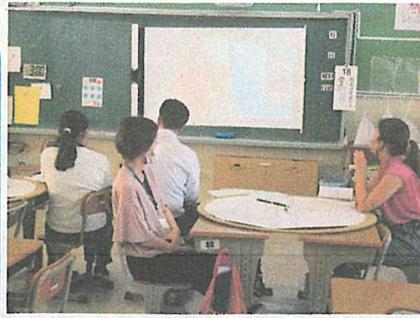
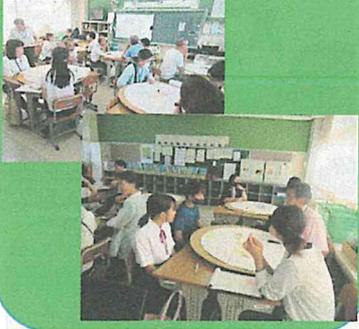
具体的取組み

- | | |
|---|---|
| <p>1 新しい発想で取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> 学力研究の一環として、「個別最適で協働的な学びの視点」を取り入れた授業を構築し、お互いの授業の見直し、振り返ることで授業改善を行い、挑戦する力を向上させる。 子どもが自ら探究学習に取り組めるよう、指導内容も工夫し、進捗のある課題やステップアップ課題などの活用を進め、自立する力を向上させる。 <p>2 新しい活用方法を工夫する</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読める学習、ハンドブックを基に、様々な教科で学習回数とGIGA活用を活用した教育活動を行い、自分たちの課題意識を持って取り組む力を向上させる。 <p>3 新しい教育課程を創る</p> <ul style="list-style-type: none"> 富勢地域を活かした生活科、総合の学習を年間指導計画には置けず、富勢3校で学んだことを交流し合い、関わり合う力を育む。 「子どもを主語にした」算数の単元計画の構想を練り、子どもの好奇心を大切にしながら学習や自主探究学習などの取組を通して挑戦する力を向上させ、学力研究の成果を他教科や行事等に生かす。 なかよし活動や委員会・クラブ活動等での異学年との交流を通して、上級生としての意識を高め、自己肯定感を高められるようにする。 | <p>1 新しい発想で取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標設定を主軸とし、目標は常に「なりたい自分の、自分たちの姿」として設定し、必ず達成できるように支援をして、自信にゆだねていく。 <p>2 新しい活用方法を工夫する</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを伝える力をつける。R90メソッドの導入、地域や富勢3校の交流を通じて、コミュニケーション力の育成を図る。 <p>3 新しい教育課程を創る</p> <ul style="list-style-type: none"> 「あじみ運動」の見直しを図る。生活科・総合の学習、各教科の学習活動で外部の方々と触れ合う中で、基本的なマナー等を発達段階に応じて身に付けられるように、実の場での学びを大切にする。(失敗から学び、自分から伝えたいと思っただけで身に付ける指導) |
|---|---|

成果効果

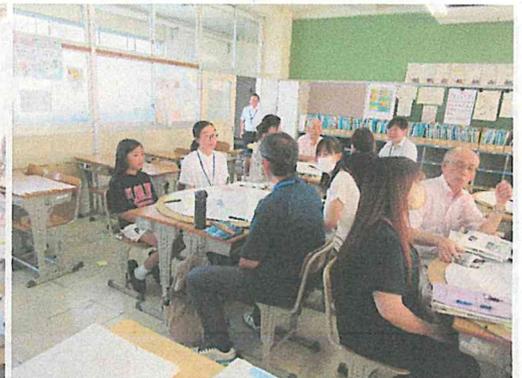
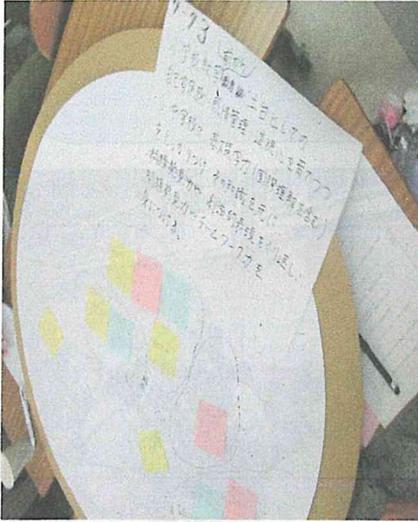
- 富勢小学校が目指す姿を、学校、保護者、地域で共有し、教育活動が展開され、目指す姿に届ける姿の実現が図られる。
- 近学協の関係者が学校と地域との橋渡しを行い、子どもたちの体験の充実、学びの充実が図られる。

2024年8月21日
 教育ミニ集会 Vol.2
 富勢中学校区で9年間で育む力を
 120名でワークショップをする。
 富勢中学校区学校運営協議会



2024年8月21日

- ① 中学までで成長を感じた授業の思い出 or もう一度中学生をするならこんな授業を企画したい、体験してみたい
- ② その授業には、どんな力の育成が含まれていたか？また、中学校時代までには、どんな力を身に付けておきたいか
- ③ 目指す力、子どもの姿の作成
 ワーク1、2を身に付けたい力、目指す子どもの姿を作文



2025年1月22日

次年度教育課程創造会議を行う。
 富勢4校計画摺り合わせ



次のカリキュラムを創造するために

- ・「目指す子どもの姿」は、つねに考えて、語っていかないと、抽象的なスローガンになってしまうおそれがあります。
- ・具体的な子どもの姿（個人名が出るレベル）と結びつけているかが大事です。
- ・子どもの姿を思い浮かべながら、来年度のカリキュラムについて話し合ってください。
- ・イメージが具体化すると、抽象的な言葉も変えなくなるかもしれません。腹落ちする言葉になるのなら、修正してよいと思います。



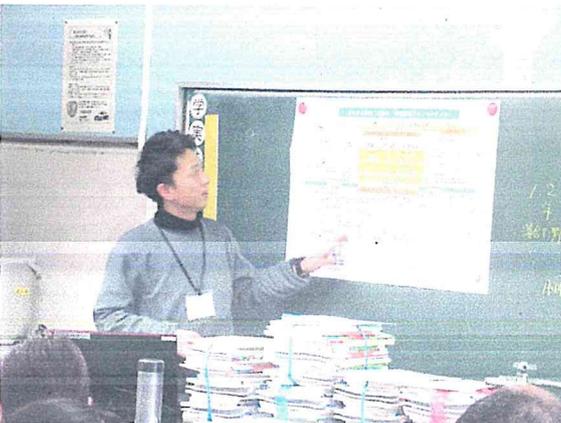
2024年度末教育課程創造会議2回 4校打合せ3回

- ・ 目指す姿の実現に向けた年間指導計画作成、生活科と総合を軸に各教科の学習との結びつき（カリキュラム・マネジメント）を話し合う
- ・ 中学校区4校で、年間2回の合同研修日程調整、4校共通の研究テーマ「地域の担い手を育む」決定、年間計画上に各学年の交流設定等



2024年度末2回目のミニ集会

- ・2025年度の教育課程について校長説明後に、児童会の児童が自分たちが選ぶ学校像を語る
- ・各学年ごとに、生活科と総合的な学習の時間を軸とした年間計画の説明
- ・地域や保護者から、お手伝い支援案等をもらう
- ・説明は3学年分は聞くことができるとともに、屋台形式で発表する



2025年
4月3日
 グランドデザインを元に、
 今年の実践について話し合う。



No.	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24



プロジェクト

学校教育目標 自ら学び 心豊かに たくましく生きる富勢の子 の育成

中期目標 3年後に実現したい学校像
地域と共に教育課程(カリキュラム)を共有し、
目指す子どもの姿の実現に向け、学校は地域を、
地域は学校を考え教育活動を通じて発展しあう
学校。

短期目標 25年度末に実現すること
富勢小の職員と保護者・地域が目指す児童の
姿を共有し、学校行事、各教科の指導を捉えな
おし、富勢3小学校が関わり合う視点を持って
子供の学びに沿った教育課程を創る。

目指す子どもの姿
挑戦し やりぬこうとする子!

Control 自分を大切に 他者を尊重する力	Communication 考えを伝え、協力する力
Challenge しなやかに挑戦し続ける力	Concept 社会で活かせる学びの力

経営重点手段 3つの新

新しい発想で取り組む

- 子どもを主語にした、個別最適で協働的な学びの具体化を図る授業実践
- 富勢地域、外部との関わり、学習支援ボランティアを活かした地域一体型の学びを創る

新しい活用方法を工夫する

- 学年(チーム)担任制で取り組む
- 図書館、GIGA、ラーコモの一体的活用

新しい教育課程を創る

- 生活科、総合の学習を軸に他教科連携を深め富勢4校での学びの道筋を創る

目指す教師像

- 前例に捉われない挑戦力
- 他学年や地域と協働する調整力

具体的取組み
プロジェクトチームで具体策を示す

- | | |
|--|---|
| <p>1 新しい発想で取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> * 校内研究の一人一研究で、「個別最適な学び・協働的な学びの視点」を取り入れた単元作りをした。授業を展開する。お互いの授業を見合い、振り返りながら授業改善を行い、挑戦する力を向上させる。 * 子どもが自ら家庭学習に取り組めるよう、指導内容を工夫する。(宿題は見直す)、選択肢のある課題やスマイルネクストドリル活用など、自学力を向上させる。 * 子ども自身が学びのゴールを設定し、達成できるように学び方を選択させ、見通す力を向上させる。 <p>2 新しい活用方法を工夫する</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「調べる学習」ハンドブックを基に、様々な教科で学校図書館とGIGA端末を活用した教育活動に取り組む。自分なりの課題意識を持ち、協働的な学習を行いながら課題解決に取り組む力を向上させる。 <p>3 新しい教育課程を創る</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「子どもを主語にした」生活科・総合的な学習の時間を軸とした、カリキュラムマネジメントを行い「地域の担い手を育て」を目指し、挑戦する力を向上させる。富勢4校校内研究の成果を他教科や行事等に生かす。 * なかよし活動や委員会・クラブ活動等での異学年との交流を通して、上級生としての意識を高め、自己肯定感を高められるようにする。 | <p>1 新しい発想で取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> * 子どもが安心して学べる言語環境を整え、子どもが挑戦したくなるようなさきかけ作りを行い、挑戦したことへの価値を持たせる。 * 目標設定を生かす。目標は常に「なりたいたい自分の、自分たちの姿」として設定し、達成できた実感を持てるような支援をして、成功体験から自身につなげていく。 <p>2 新しい活用方法を工夫する</p> <ul style="list-style-type: none"> * 自分の考えを伝える力をつけるため、R80メノットを様々な教科で導入する。地域や富勢4校の交流を通じて、コミュニケーション力を育成する。 <p>3 新しい教育課程を創る</p> <ul style="list-style-type: none"> * 生活科・総合的な学習、各教科の学習活動で外部の方々と触れ合う中で、基本的なマナー等を発達段階に応じて身に付けられるように、実の場での学びを大切にする。 * 失敗から学び、自分からそうなりたいと思っけて身に付けていく場を大切にする |
|--|---|

実現手段

- 成果効果**
- 富勢小学校が目指す姿を、学校、保護者、地域で共有し、教育活動が展開され、目指す姿に掲げる姿の実現が図られる。
 - 富学協の関係者が学校と地域との橋渡しを行い、子どもたちの体験の充実、学びの充実が図られる。



2025年6月12日
4校合同研修
学年ごとに生活・総合の学習計画案を交流し、テーマをすりあわせる。



- 各学校が計画している生活科と総合的な学習の時間の説明をする
- 一緒に活動できるポイント、成果発表の調整
- 8月21日のミニ集会で提案する内容を吟味する



学年ごとに生活・総合の計画を説明する



農業について学ぶ大切さ農家の人に直接聞きたい自分たちのこれから学びたいことを説明する
子供たち 5年生

総合的な学習で自分たちがどのような学びをしていくのか、説明を聞く
子供たち 4年生

学年ごとに 生活・総合の計画を説明する



2025年8月21日
教育ミニ集会 Vol5
富勢中学校区で各学校の地域と共に行う生活・総合の単元計画の説明と協力の依頼を行う。



- ・各学校が計画している生活科と総合的な学習の時間の説明をする
- ・学校運営協議会委員+保護者+地域+児童生徒が計画を聞き、意見交換等を行い、支援体制につなげていく
- ・この姿を**教育課程の承認**と言っていいのではないかと、だから、8月はじまりのコミュニティ・スクール